

医療法人 聖愛会 発寒リハビリテーション病院

《当病院は厚生労働大臣が定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です》

1. 入院基本料に関する事項

2階病棟に関する事項

入院基本料（特定入院料）：回復期リハビリテーション入院料 1

病床数：5 4 床

看護配置 13：1（必要最小数の4割以上が看護師）

看護補助者配置 30：1

当病棟では、1日に13人以上の看護職員（看護師及び准看護師）と6人以上の看護補助者が勤務しています。

時間ごとの看護職員・看護補助者の配置について

<2交代制>

8：45～17：15時まで

- ・看護職員1人当たり受け持ち患者数は5人以内
- ・看護補助者1人当たり受け持ち患者数は14人以内

17：00～9：00まで

- ・看護職員1人当たり受け持ち患者数は27人以内
- ・看護補助者1人当たり受け持ち患者数は27人以内

3階病棟に関する事項

入院基本料：障害者施設等13対1入院基本料

病床数：5 4 床

看護配置 13：1（必要最小数の7割以上が看護師）

看護補助者配置 50：1

当病棟では、1日に13人以上の看護職員（看護師及び准看護師）と4人以上の看護補助者が勤務しています。

時間ごとの看護職員・看護補助者の配置について

<2交代制>

8：45～17：15時まで

- ・看護職員1人当たり受け持ち患者数は5人以内
- ・看護補助者1人当たり受け持ち患者数は27人以内

17：00～9：00まで

- ・看護職員1人当たり受け持ち患者数は27人以内
- ・看護補助者1人当たり受け持ち患者数は27人以内

2. 基本診療料の施設基準等

- ・電子的診療情報連携体制整備加算3（初・再診料）
- ・回復期リハビリテーション病棟入院料1
- ・入院時食事療養/生活療養（1）

- ・ 障害者施設等 1 3 対 1 入院基本料
- ・ 看護補助加算 2
- ・ 夜間 7 5 対 1 看護補助加算
- ・ 夜間看護体制加算
- ・ 看護補助体制充実加算 1
- ・ 身体的拘束最小化推進体制加算
- ・ 認知症ケア加算 3
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 特殊疾患入院施設管理加算
- ・ 診療録管理体制加算 2
- ・ 地域支援・医薬品供給対応体制加算 1
- ・ 療養病棟療養環境加算 1
- ・ 療養環境加算
- ・ データ提出加算 1

3. 特掲診療料の施設基準等

- ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）
- ・ 運動器リハビリテーション料（1）
- ・ 廃用症候群リハビリテーション料（1）
- ・ 呼吸器リハビリテーション料（1）
- ・ がん治療連携指導料
- ・ 薬剤管理指導料
- ・ 持続陽圧呼吸療法充実管理体制加算
- ・ CT 撮影及び MRI 撮影
- ・ 酸素加算
- ・ 外来・在宅ベースアップ評価料（1）
- ・ 入院ベースアップ評価料

4. 個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書の発行について

当院では、医療の透明化や患者への情報提供を積極的に推進していく観点から領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書（外来・入院医療費明細書）を無料で発行することとしています。

明細書には使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されておりますのでその点をご理解いただき、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。

5. 特別の療養環境の提供に関する事項

当院における差額病床料金は以下のとおりです。（表示金額は消費税込みの 1 日の金額となります）

- ・ 個室（¥ 5, 5 0 0 -）：213 313 316

※利用状況によってはご希望に添えない場合がございます。

6. 医科点数表等に規定する回数を超えて行う診療に関する事項

当院におけるリハビリテーションの料金は以下のとおりです。

- ・選定療養によるリハビリテーション料：1単位2800円（税込）

7. 食事サービスの関する事項

①入院時食事療養費（1）・入院時生活療養費（1）

当院は管理栄養士により、患者様の疾病・症状・年齢などより適切な栄養量及び内容の食事を適時・適温で提供しています。

②特別管理食

当院は厚生労働大臣が定める基準による特別管理食を提供しています

8. 電子的診療情報連携体制整備加算について

当院はオンライン資格確認を行う体制を有しており、受診者に対し、受診歴、薬剤情報、特定健診情報その他必要な診療情報を取得・活用して質の高い診療を行っております。

医師等が診療を実施する診察室等において閲覧できる体制を整えており、オンライン資格確認により取得した診療情報等を活用して診療を実施しています。

マイナ保険証を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでおります。

また、電子処方箋の導入や電子カルテ情報共有サービスの活用も実施してまいります。（随時導入を予定しています）

9. 身体的拘束最小化の取り組みについて

当院では、多職種による身体的拘束最小化チームを設置し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束を行わない取り組みを行っております。

- ・病院長や看護部長等が自ら身体的拘束の最小化に取り組むことを発信し、職員に周知しています。
- ・身体的拘束の最小化に関する講習会を年2回以上実施し、入職後1年が経過した全ての入院患者に関わる職員が受講しています。
- ・身体的拘束最小化チームにより、用具の一元管理が行われるとともに、使用状況に基づく解除の提案等がなされています。
- ・身体的拘束が行われている患者がいる場合、身体的拘束最小化チームによる巡回が定期的に行われ、病棟の職員らとともに、解除に向けた具体的な検討が行われています。
- ・身体的拘束を行わずにケアするための用具を職員から提案したり、提案を積極的に導入する仕組みがあります。
- ・実施率（％）について（直近3カ月）（2026年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2階	5.04	2.48	1.18	0.97	0.59	0.00	0.00					

内)療養	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
3階	6.92	4.57	2.07	0.65	0.00	0.02	0.02					
全体	5.96	3.49	1.62	0.81	0.30	0.01	0.01					

1 0．長期収載品の選定療養について

2024 年度診療報酬改定に伴い、長期収載品（後発医薬品《ジェネリック医薬品》がある先発医薬品）の選定療養が2024 年 10 月 1 日から導入されています。患者さんの希望により長期収載品を処方した場合に、長期収載品と後発医薬品の差額の 4 分の 1 に相当する金額を、選定療養費（特別の料金）として患者さんにご負担いただく仕組みです。

■対象となる医薬品 外来患者さんの院内・院外処方 後発医薬品が市販されて 5 年以上経過した長期収載品、または後発医薬品への置換率が 50％以上の長期収載品（注射薬剤含む）

■対象外になる場合 医師が医療上の必要性があると判断し長期収載品を処方した場合や後発医薬品の提供が困難な場合 バイオ医薬品については対象外となります。 入院の場合（退院時処方を含む）

■負担金額 長期収載品の価格と後発医薬品内での最高価格との価格差の 2 分の 1 となります。 ※選定療養費には別途消費税も必要になります。

省令・告示や具体的な対象医薬品リストなど、詳細については厚労省ホームページをご確認ください。

1 1．地域支援・医薬品供給対応体制加算に関する事項

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品：先発医薬品と同じ成分を含み、同じ効果が期待できる医薬品）の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。

医薬品の供給不足等が発生した場合に、医薬品の代替品の提供や用量・投与日数などの処方変更に関して適切な対応を行います。

1 2．保険外負担に関わる事項

当院では、以下の項目について保険内医療費とは別に実費の負担をお願いしています。（表示価格は全て税込）

テレビ		1 日	4 4 0 円
冷蔵庫		1 日	1 1 0 円
肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）	助成なしの場合	1 回	8,2 5 0 円
肺炎球菌ワクチン（プレナー）	助成なしの場合	1 回	1 1,4 9 0 円
B 型肝炎ワクチン	助成なしの場合	1 回	4,4 0 0 円
M R ワクチン	助成なしの場合	1 回	8,8 0 0 円

水痘ワクチン	助成なしの場合	1回 6,600円
日本脳炎ワクチン	助成なしの場合	1回 6,600円
郵送料（切手代）		（実費）
死後処置料		11,000円
健康診断	①身長・体重・視力・胸部X－P・尿	3,630円
	②身長・体重・視力・胸部X－P・尿・貧血・肝機能	7,260円
	③身長・体重・視力・聴力・胸部X－P・尿	5,500円
	④身長・体重・視力・聴力・胸部X－P・尿・心電図	7,700円
	⑤身長・体重・視力・聴力・胸部X－P・尿・貧血・肝機能・脂質・心電図	8,800円
	その他検査項目によって変わりますので窓口にご相談下さい。	
文書料（1通につき）	診断書・証明書（当院書式のもの、その他簡易的なもの）	2,750円
	診断書・証明書（生命保険会社提出用、その他複雑なもの）	5,500円
	入院期間証明書（退院証明書）	550円
	通院証明書・傷病証明書	550円
	障害年金診断書（国民年金・厚生年金保険）	11,000円
	死亡診断書（2通目から半額）	5,500円
	身体障害者診断書・意見書	8,800円
	特定疾患診断書・臨床調査個人票	8,800円
	診療情報提供書（保険請求外）	3,300円
	施設入居用健康診断書	5,500円
	おむつ証明書	550円
	支払証明書（12か月分の証明）	550円

	公安委員会提出用	2,750円
	個人番号カード顔写真証明書	550円
	成年後見制度用診断書（家庭裁判所提出用）	5,500円
	補装具要否意見書	3,300円
	自賠責保険診断書	5,500円
	自賠責保険明細書	4,400円
	訴訟に関する照会文書	5,500円
診療録開示	手数料	5,500円
	開示文書写し	1枚 55円
	画像CDR	1枚 3,300円
医師面談料	セカンドオピニオン（30分ごと）	5,500円
寝具一式	家族付き添い時1回につき	250円
コピー代	白黒	1枚 11円
	カラー	1枚 22円

回復期リハビリテーション病棟(2階病棟)

○退棟患者数(2026. 7～2026. 9): 47名

(内訳)

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態: 18名
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態: 15名
3. 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態: 13名
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態: 1名
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態: 0名
6. 急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態: 0名
7. その他(対象外): 0名

○実績指数(2026. 4～2026. 9): 44. 9点